

令和3年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(桜ヶ丘小学校)

平均正答率

(単位 %)

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
桜ヶ丘小	58.6	52.0	61.8	71.6	56.9	62.9
埼玉県	58.0	56.7	58.6	69.9	61.6	60.9

質問紙調査より

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値

(単位 %)

	質問事項	小4		小5		小6	
		桜ヶ丘小	埼玉県	桜ヶ丘小	埼玉県	桜ヶ丘小	埼玉県
生活習慣	・脱いだ履き物のかかとをそろえる	87.0	83.3	88.0	83.6	94.9	86.8
	・相手の顔を見て、はっきりあいさつをすることができる(小4) ・自分からはっきりあいさつをすることができる(小5、小6)	88.2	78.5	74.7	78.2	86.7	78.0
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉づかいができる	93.0	84.6	96.0	84.6	95.9	84.1
学習習慣	・学校の宿題をしている	96.5	94.9	90.7	96.2	96.9	96.1
	・学校の授業の予習や復習をしている	76.5	69.3	72.0	69.9	89.8	70.0
	・平日、学校の授業時間以外に1時間以上勉強している(塾等を含む)	64.7	51.1	74.7	58.3	87.7	64.9
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き(勉強する理由として)	77.6	70.0	60.0	63.8	74.4	57.8
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ(勉強する理由として)	90.6	88.3	85.3	88.7	94.9	90.8
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	87.0	77.5	82.7	70.9	74.5	63.7
その他	・自分には、よいところがある	83.6	80.2	77.3	77.9	80.6	69.8
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	83.6	80.3	77.3	79.9	84.7	75.8
	・将来の夢や目標をもっている	93.0	89.0	84.0	88.3	92.8	83.4

桜ヶ丘小の「よかった点（○）」と「課題（●）」

【国語】

- 漢字、慣用句や辞書の使い方等について、全学年において市の平均程度かそれ以上の正答率となっており、これについての知識が定着しているといえる。
- 「読むこと」の領域で、複数学年において県や市の平均を上回っており、文章の理解や心情の読み取りなどが確実にできるようになっているといえる。
- 問題形式で見ると、選択式の問題において、6年生の平均が市や県の平均を大きく上回っており、それを得意としていることや正答する力が付いていることなどが分かる。
- 「言葉の特徴や使い方」の領域で県や市の平均点を下回っている学年があり、漢字の読み書きや文法などを苦手としている児童が多いことが分かる。
- 問題形式で見ると、記述式の問題で、全学年において市の平均を下回っており、構成に気を付けて文を書くことや、自分の考えをまとめることが苦手な児童が多いことが分かる。

【算数】

- 「数と計算」の領域で、複数学年において県や市の平均上回っており、基本的な四則計算が身に付いているといえる。
- 4年生の算数では、「測定」の領域で県や市の平均を大きく上回っており、重さの単位の換算や計器を使った測定などが身に付いていることが分かる。
- 問題形式で見ると、記述式の問題で、全学年において市の平均と同等かそれ以上の結果が出ている。児童が、問題を数学的に分析して根拠を示しながら表現する力を身に付けているといえる。
- 「図形」の領域において、複数学年で県平均に届いておらず、図形の性質や面積に関する知識などに不安があることが分かる。
- 「思考・判断・表現」に係わる問題において、複数学年で県平均かそれ以下の結果となっており、この観点の能力に不安があることが分かる。

【質問紙】

- 「けじめのある生活」に係わる質問について、全学年の全項目で良好な結果が得られた。特に6年生の「授業の開始時刻を守ることについての良好な回答率は100%だった。
- 「約束やきまりを守ること」について、複数学年で「相手の話を聞く」ことができていないことがわかった。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・漢字ドリルに加えて、ドリルパークを積極的に活用した繰返し学習で、漢字や文法に関する知識の定着を図る。
- ・授業中に自分の考えなどを書く機会を増やし、児童が文を書くことに慣れるように指導していく。

【算数】

- ・図形の性質や面積の求め方などについて、授業の中で丁寧に確認したり、復習したりできるよう意識した授業を展開する。
- ・各単元の「思考・判断・表現」に係わる適応問題や発展問題について、授業中はもちろん朝学習の中でも取り組めるように計画・実践をしていく。

【その他】

- ・特に「話を聞くこと」や「あいさつをすること」について、よくできている子を認めることで実践力をさらに向上させていけるよう、職員全体で取り組んでいく。

